

宮城県地域医療計画の変更（中間見直し）の概要について

令和4年5月26日

宮城県保健福祉部

1 法的根拠と国の政策動向

(1) 地域医療計画

- ・ 都道府県は、医療法第30条の4第1項の規定に基づき、厚労大臣が定める基本方針に即し、かつ、地域の実情に応じて、医療計画を定める。
- ・ 医療計画には、同条第2項及び第4項・医療法施行規則第30条の28の規定に基づき、5疾病・5事業及び在宅医療の医療連携体制を構築するための方策を定める。

(2) 医療法の定める計画見直し

- ・ 都道府県は、法第30条の6第1項・規則第30条の32の4の規定により、3年ごとに、在宅医療、医師確保や外来医療について、調査、分析及び評価を行い、必要があると認めるときは、医療計画を変更する。

※ 第7次宮城県地域医療計画の計画期間は平成30年度～令和5年度。

※ なお、宮城県医師確保計画、宮城県外来医療計画は、いずれも計画期間が令和2年度～5年度であり、今回は見直しを要しない。

- ・ また、法第30条の6第2項の規定により、6年ごとに、それ以外の事項について、調査、分析及び評価を行い、必要があると認めるときは、医療計画を変更する。

【参考】宮城県地域医療計画の変遷

- ・ 第1次宮城県地域保健医療計画（昭和63年8月及び平成元年6月公示）
- ・ 第2次宮城県地域保健医療計画（平成5年8月公示）
- ・ 第3次宮城県地域保健医療計画（平成11年8月公示）
- ・ 第4次宮城県地域保健医療計画（平成15年8月公示）
- ・ 第5次宮城県地域医療計画（平成20年4月公示）
- ・ 第6次宮城県地域医療計画（平成25年4月公示）
※平成28年11月変更（「宮城県地域医療構想」追加）
- ・ 第7次宮城県地域医療計画（平成30年4月公示）
※第3期宮城県医療費適正化計画と一体的に策定
※令和2年3月変更（「宮城県外来医療計画」及び「宮城県医師確保計画」追加）

(3) 第7次医療計画の中間見直しをめぐる国の動き

- ・ 第13回医療計画の見直し等に関する検討会（平成30年9月28日）において、中間見直しのスケジュールについては、令和元年度に、国が中間見直しに反映すべき事項をとりまとめ、「医療計画作成指針」の改正を行い、令和2年度に県が当該指針を踏まえて中間見直しを行うこととされた。また、中間見直しの方針については、大幅な見直しでなく指標の追加を主なコンテンツとすることが示された。
- ・ これを受けて、令和2年4月に、国は「『医療計画について』の一部改正について」（令和2年4月13日医政発0413第1号医政局長通知）によって「医療計画作成指針」を改正し、「『疾病・事業及び在宅医療に係る医療体制について』の一部改正について」（令和2年4月13日医政地発0413第1号地域医療計画課長通知）によって「疾病・事業及び在宅医療に係る医療体制構築に係る指針」や「現状把握のための指標例」を改正した。
- ・ なお、都道府県による中間見直しの時期については、令和2年5月に、国は「第7次医療計画の中間見直し時期及び看護職員に係る医療計画上の検討について」（令和2年5月12日医政地発0512第1号地域医療計画課長通知・医政看発0512第1号看護課長通知）を発出し、今般の新型コロナウイルス感染症の感染状況等を考慮し、「見直し後の医療計画の適用が、令和4年度以降となっても差し支えない」とした。

【参考】令和2年4月地域医療計画課長通知「現状把握のための指標例」見直しの概要

※ 各県及び本県の対応状況については、別紙「参考資料」を参照。

五 疾 病	①	がんに関する医療提供体制について
		・ 中間見直し後も現在と同様の指標を継続して使用するが、第4期がん対策推進基本計画の策定と並行して指標等の見直しを検討する
	②	脳卒中及び心血管疾患に関する医療提供体制について
		・ 中間見直し後も現在と同様の指標を継続して使用するが、循環器病対策推進基本計画を踏まえ第8次計画に向けた検討を行う
	③	糖尿病に関する医療提供体制について【指標例の見直し】
		・ 糖尿病患者の新規下肢切断術の件数の追加 ・ 1型糖尿病に対する専門的治療を行う医療機関数の追加
	④	精神疾患に関する医療提供体制について【指標例の見直し】
		・ 依存症専門医療等機関(依存症専門医療等機関、依存症治療拠点機関)数の追加 ・ 摂食障害治療支援センター数の追加 ・ てんかん診療拠点機関数の追加 ・ 精神科救急入院料を算定した病院数の追加 ・ 精神科救急医療施設(病院群輪番型、常時対応型)数、外来対応施設数及び身体合併症対応施設数の追加 ・ 精神科救急医療体制整備事業における受診件数の追加 ・ 精神科救急医療体制整備事業における入院件数の追加 ・ 地域平均生活日数へ変更 (現行) 精神病床における退院後3・6・12ヶ月時点の再入院率 ・ 深夜・休日に初診後に精神科入院した病院数の削除 ・ 深夜・休日に初診後に精神科入院した患者数の削除 ・ 重点指標を各疾患の精神保健医療体制の高度化に資する指標及び拠点医療機関等の指標に変更 (現行) 各疾患の入院及び外来診療している医療機関数
五 事 業	⑤	救急医療【指標例の見直し】
		・ 救命救急センター充実段階評価にS評価を追加 ・ 地域で行われている多職種連携会議の開催回数の追加 ・ 中核・高次の救急医療機関とその周辺の救急医療機関との間の病院間搬送件数の追加 ・ 救急車の受入件数の追加 ・ 救急要請(覚知)から救急医療機関への搬送までに要した平均時間の追加
	⑥	災害時における医療【指標例の見直し】
		・ 都道府県による医療従事者に対する災害医療教育の実施回数を追加 ・ 都道府県による地域住民に対する災害医療教育の実施回数を追加 ・ 「災害時の医療チーム等の受け入れを想定し、都道府県災害対策本部、都道府県医療本部で関係機関(警察、消防等)、公共輸送機関等との連携の確認を行う災害訓練の実施回数」の指標に、関係機関として「保健所、市町村等」を追記 ・ 災害医療コーディネーター任命者数を追加 ・ 災害時小児周産期リエゾン任命者数を追加 ・ 災害拠点病院における業務継続計画(BCP)の策定率を指標から削除
	⑦	へき地の医療【指標例の見直し】
		・ へき地医療拠点病院の中で主要3事業の年間実績が合算で12回以上の医療機関の割合の追加 ・ へき地医療拠点病院の中でへき地医療拠点病院の必須事業の実施回数が年間1回以上の医療機関の割合の追加
	⑧	周産期医療【指標例の見直し】
		・ ハイリスク妊産婦連携指導料1・2届出医療機関数の追加 ・ 母体・新生児搬送数・都道府県内搬送率の取得方法の変更 ・ 母体・新生児搬送数のうち受入困難事例の件数の算出方法の変更 ・ 災害時小児周産期リエゾン任命者数を重点指標化 (現行)災害時小児周産期リエゾン認定者数
	⑨	小児医療(小児救急医療を含む)【指標例の見直し】
		・ 災害時小児周産期リエゾン任命者数を重点指標として追加 ・ 小児の訪問診療を実施している診療所・病院数の追加 ・ 小児の訪問診療を受けた患者数の追加 ・ 小児の訪問看護利用者数の追加
在 宅	⑩	在宅医療【指標例の見直し】
		・ 小児の訪問診療を実施している診療所・病院数の追加 ・ 訪問口腔衛生指導を実施している診療所・病院数の追加 ・ 機能強化型の訪問看護ステーション数の追加 ・ 在宅で活動する栄養サポートチーム(NST)と連携する歯科医療機関数の追加 ・ 小児の訪問診療を受けた患者数の追加 ・ 歯科衛生士を帯同した訪問歯科診療を受けた患者数の追加 ・ 訪問口腔衛生指導を受けた患者数の追加

2 第7次地域医療計画の変更(中間見直し)に関する本県の対応

(1) 中間見直しの時期

- 宮城県では、令和2年4月の医政局長通知、地域医療計画課長通知を受けて、第7次医療計画の3年目である令和2年度中の見直しに向けた作業に着手していた。
- しかし、新型コロナウイルス感染症等への対応を優先するため、令和2年5月の地域医療計画課長通知の趣旨を踏まえ、令和3年2月に開催を予定していた第1回医療審議会医療計画部会を延期する等、令和2年度から3年度にかけて、見直し作業を一時中断していたところである。
- もっとも、令和4年度及び5年度中に、第8次医療計画の策定作業を行う必要があることから、今回、第7次医療計画の中間見直しについても、令和4年度中に検討作業を終え、同年度中に施行することとした。

(2) 中間見直しの内容

- 令和2年4月の地域医療計画課長通知による「疾病・事業及び在宅医療に係る医療体制構築に係る指針」の改正及び各疾病・事業の「現状把握のための指標例」の見直しを踏まえ、必要な修正を行う。また、必要に応じて、本文記載の数値の更新、表現の見直し及び図表の時点修正等を行う。
- 見直しにあたって、各分野については、関係協議会等において意見聴取等を行い、計画全体については、宮城県医療審議会に諮問した上で、計画部会で協議を進め、答申を受けて決定する。
- なお、第7次医療計画の中間見直しに係る計画期間が短期間にとどまることから、令和3年度以前の関係協議会等において協議が整った分野については、その後の修正は最低限にとどめ、大規模な見直しは、国の動向を踏まえながら、第8次計画策定時に実施する。

(3) 主な改正箇所

① がん

- 地域拠点病院の指定状況等を時点修正し、子宮頸がんワクチンの勧奨推進に係る市町村への助言等について加筆した。
- 「患者調査」，「人口動態調査」，「全国がん登録に基づく全国がん罹患数」や「施設基準の届出受理状況」等に基づいて時点修正を施した。

② 脳卒中

- 「特定健康診査・特定保健指導の実施状況に関するデータ」，「患者調査」，各種人口統計，「施設基準の届出状況」，「宮城県救急搬送実施基準」等に基づいて時点修正を施した。

③ 心筋梗塞等の心血管疾患

- 「宮城県心筋梗塞登録研究」「特定健康診査・特定保健指導の実施状況に関するデータ」「患者調査」，各種人口統計等に基づいて時点修正を施した。

④ 糖尿病

- 「糖尿病の医療体制構築に係る現状把握のための指標例」の見直しにより「糖尿病患者の新規下肢切断術の件数」が追加されたことを踏まえ、糖尿病足病変による新規下肢切断術の件数（人口10万対）の実績値を追記した。

- ・ 「特定健康診査・特定保健指導の実施状況に関するデータ」，「医療計画作成支援データブック」，「患者調査」，各種人口統計等に基づいて時点修正を施した。

⑤ 精神疾患

- ・ 「精神疾患の医療体制構築に係る現状把握のための指標例」の見直しにより，地域平均日数が追加されたことを踏まえ，精神障害者の精神病床から退院後 1 年以内の地域における平均生活日数を数値目標に追加した。
- ・ 宮城県精神保健福祉審議会における協議を踏まえ，「現状と課題」及び「施策の方向」の各疾病について追記をしたほか，アルコール対策推進計画の策定や依存症専門医療機関及び治療拠点機関の選定を踏まえ，依存症に対する施策の方向性を追記した。
- ・ 「地域保健・健康増進事業報告」，「衛生行政報告例」，「患者調査」，「国民生活基礎調査」，「医療施設調査」等に基づいて時点修正を施した。

⑥ 救急医療

- ・ 「救急医療の体制構築に係る指針」の改正により，救命救急医療機関には災害拠点病院と同様に自家発電機等を保有することが望ましい旨が追加されたことを踏まえ，県内の救命救急センターの全てが自家発電機等を保有している旨を追記した。
- ・ 平成 31 年 4 月から救急搬送情報共有システムの運用を開始しているため，関連部分について計画本文に追記した。
- ・ 「救急・救助の現況」，「救急搬送における医療機関の受入状況等実態調査の結果」，「医師・歯科医師・薬剤師調査」等に基づいて時点修正を施した。

⑦ 災害医療

- ・ 「第 7 次医療計画の中間見直し等に関する意見のとりまとめ」において第 7 次医療計画策定後の災害医療の現状を踏まえた内容を盛り込むこととされたことを踏まえ，保健医療調整本部の設置について追記した。
- ・ 令和元年東日本台風時の活動の反省を踏まえ，記載内容の時点修正を行った。
- ・ 「災害時における医療体制構築に係る現状把握のための指標例」の見直し及び令和元年東日本台風時の活動の反省を踏まえ，災害医療コーディネーター任命者数を数値目標に追加した。

⑧ へき地医療

- ・ 「へき地の医療体制構築に係る指針」及び「へき地の医療体制構築に係る現状把握のための指標例」において，へき地医療拠点病院の中で，必須事業を年間 1 回以上行う医療機関の割合を 100%にすることが望ましい旨が追加されたことを踏まえ，数値目標に追加した。
- ・ 離島と本土をつなぐ橋梁をはじめ交通環境の整備によって，無医地区・無歯科医地区が減少傾向にあること等，へき地医療の現状に関する情報の更新を行った。
- ・ 「無医地区等調査・無歯科医地区等調査」，「へき地医療現況調査」等に基づいて時点修正を施した。

⑨ 周産期医療

- ・ 「周産期医療の体制構築に係る指針」の改正により、周産期母子医療センターにおいて被災後、早期に診療機能を回復できるよう、業務継続計画を策定していること等が追加されたことを踏まえ、災害に対応したインフラ体制構築等の推進について追記した。
- ・ 「周産期医療の医療体制構築に係る現状把握のための指標例」の見直しにより、災害時小児周産期リエゾンの任命者数が重点指標となったことを受けて、数値目標に追加した。
- ・ 「周産期医療の体制構築に係る指針」の改正を受けて、「周産期医療圏」について定義を追加し、表現を統一した。
- ・ 「宮城県周産期医療機能調査」，「人口動態統計」や「医師・歯科医師・薬剤師調査」等に基づいて時点修正を施した。

⑩ 小児医療

- ・ 「小児医療の体制構築に係る指針」の改正を受けて、「小児医療圏」について「医師確保計画」と同様の定義を用いることを明記したほか、「小児災害時医療体制」及び「小児医療に関する協議会」に関する記載を追加した。
- ・ 「小児医療の体制構築に係る指針」の改正により、産科・小児科の医師偏在指標を活用した産科・小児科の医師確保計画に関する記載が追加されたことを踏まえ、本県の小児科医師偏在指標等について追記した。
- ・ 「人口動態統計」，「医師・歯科医師・薬剤師統計」等に基づいて時点修正を施した。

⑪ 在宅医療

- ・ 「在宅医療の体制構築に係る指針」の改正において、訪問診療を実施する診療所・病院数に関する具体的な設置目標を記載することとされたが、本県では既に数値目標としていることから、時点修正を行った。
- ・ 「本県の高齢者人口及び在宅のひとり暮らし高齢者の状況」や「二次医療圏別高齢者人口及び在宅のひとり暮らし高齢者の状況」を追加した。
- ・ 「医療施設調査」，「介護サービス施設・事業所調査」，「施設基準の届出受理状況」や「人口動態調査」等に基づいて時点修正を施した。

⑫ 感染症対策

- ・ 新型コロナウイルス感染症に関する記載を新規に追加した。具体的には令和2年1月の感染者確認からこれまでの経過と感染者数，感染拡大防止のための体制整備等について記載した。
- ・ その他，「結核登録者情報調査年報」，「感染症発生動向調査年報」や「市町村接種率調査」等に基づいて時点修正を施した。

【参考】第7次医療計画の中間見直しに係るスケジュール(予定)

- ・ 令和4年5月 宮城県医療審議会へ諮問
- ・ 令和4年5月中旬 第1回宮城県医療審議会医療計画部会において審議(中間案)
- ・ 令和4年6月中旬 パブリックコメント及び意見聴取(市町村, 関係団体)の実施
- ・ 令和4年8月上旬 第2回宮城県医療審議会医療計画部会において審議(最終案)
- ・ 令和4年8月下旬 宮城県医療審議会から答申
- ・ 令和4年9月1日 第7次宮城県地域医療計画(中間見直し)を施行
- ・ 令和4年9月上旬 公示

【参考】宮城県地域医療計画に関する会議一覧

No.	疾病・事業等	会議等の名称
1	がん	宮城県がん対策推進協議会
2	脳卒中	宮城県生活習慣病健診管理指導協議会
3	急性心筋梗塞	〃
4	糖尿病	宮城県糖尿病対策推進会議
5	精神疾患	宮城県精神保健福祉審議会
6	救急医療	宮城県救急医療協議会
7	災害医療	宮城県救急医療協議会
8	へき地医療	宮城県へき地保健医療対策検討会
9	周産期医療	宮城県周産期医療協議会
10	小児医療	宮城県小児医療協議会
11	在宅医療	宮城県在宅医療推進懇談会
12	新興感染症	